

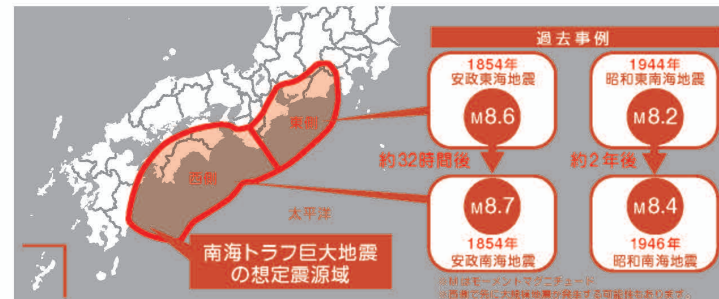
(3)南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震臨時情報とは

過去、南海トラフでは想定震源域の東側と西側において、時間差で大規模地震が発生した事例があります。

- 1854年 安政東海地震と安政南海地震
南海トラフの東側で地震が発生した約32時間後に、西側でも地震が発生
- 1944年 昭和東南海地震と1946年 昭和南海地震
南海トラフの東側で地震が発生した約2年後に、西側でも地震が発生

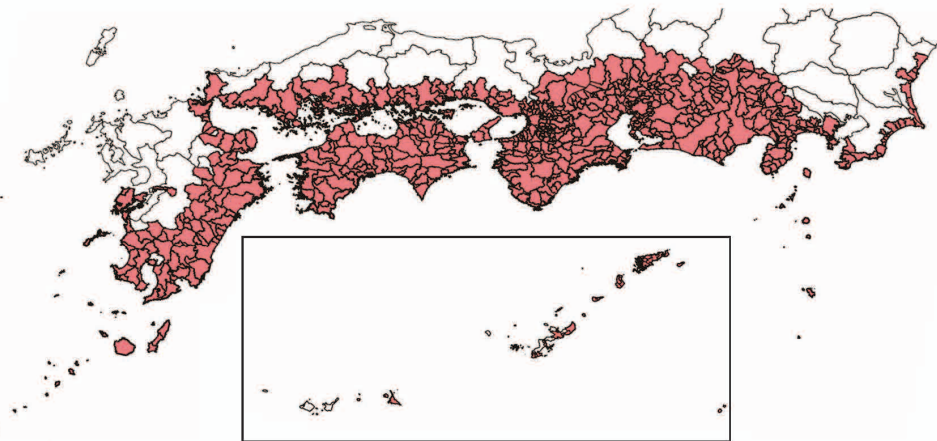
地震は一度では終わらないかも
～時間差で起きる場合も～



出典：内閣府 気象庁 南海トラフ地震—その時の備え—

過去の事例のような時間差で発生する大規模地震に備えるため、想定震源域内で大規模地震や地殻変動など異常な現象が観測された場合に、気象庁より南海トラフ地震臨時情報が発表されます。南海トラフ地震臨時情報は南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する(後発地震)可能性が高まった場合などに発表されます。臨時情報が発表された際は、後発地震に備え、国や県・明石市などからの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

南海トラフ地震で
大きな被害が
見込まれる地域
南海トラフ地震
防災対策推進地域



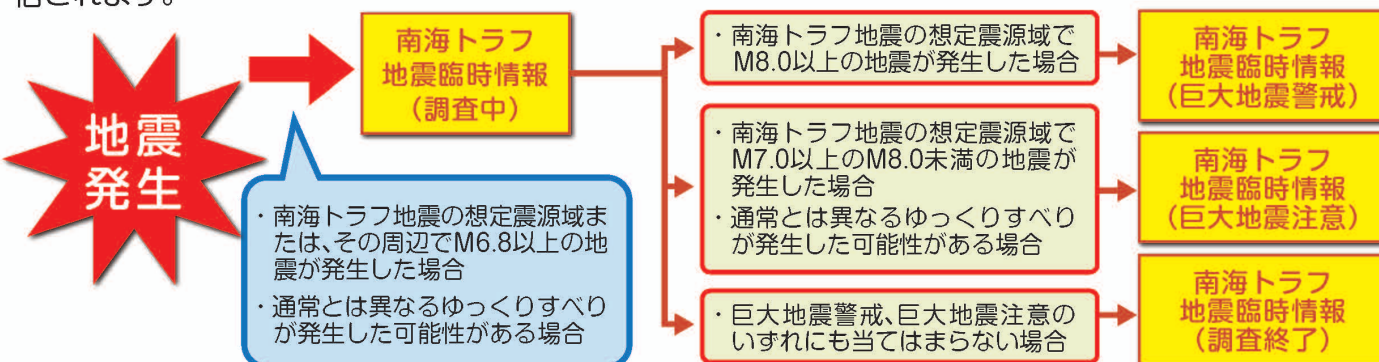
出典：内閣府 気象庁 南海トラフ地震—その時の備え—

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で
海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、
過去の被災履歴への配慮

南海トラフ地震臨時情報の種類

南海トラフ地震臨時情報は、南海トラフ沿いで発生した異常な現象に応じて、キーワードを付して発表されます。例えば、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)といった形で発表されます。地震発生から5～30分で発生源や地震動・地殻変動の様子を調査し、巨大地震に対して警戒・注意が必要であるか情報が発信されます。



南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

南海トラフ地震臨時情報(調査中)

発生後

- 南海トラフ地震における大規模地震が時間差で発生するなど、防災対応をとる必要があるか調査を行っています。今後の情報発表に留意しましょう。



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)

防災対応をとる必要があります

2時間程度～1週間

- 日頃からの地震への備えを再確認しましょう。
- 津波からの避難が間に合わない一部の地域では引き続き1週間避難を継続してください。



1週間～2週間

- 警戒措置を解除し、さらに1週間、地震への注意措置をとる。

- 引き続き地震の発生に備えましょう。



2週間～

- 地震の発生に注意しながら通常の生活を送ってください。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意しましょう。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)

防災対応をとる必要があります

2時間程度～1週間

- 日頃からの地震への備えを再確認しましょう。

1週間～2週間

- 地震の発生に注意しながら通常の生活を送ってください。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意しましょう。

2週間～

南海トラフ地震臨時情報(調査終了)

防災対応をとる必要はありません

- 通常の生活を送ってください。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではありませんので、気をつけてください。

南海トラフ地震対策について
(内閣府)



南海トラフ地震について
(気象庁)



1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波

1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波